

# 2026アジア・アジアパラ競技大会

## NAGOYAビジョン

改訂  
しました



～大会の成功とその先を見据えて～



### 大会が開催されると名古屋はどうなるの？

#### 第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会

- 令和8年(2026年)9～10月に愛知・名古屋で開催
- 45の国と地域が参加予定

- ★多くの人々がこの地域にやって来る
- ★国・文化などさまざまな背景を持った選手たちの最高のパフォーマンスを観戦できる
- ★競技会場だけでなく、誰もが安心・快適に過ごせるようにまちが整備される



名古屋市の  
知名度アップ

経済が  
活気づく

国際感覚が  
養われる

まちづくりや  
にぎわいの拠点に

多様性への  
理解が深まる

大会開催の効果を  
未来につなげていくために  
NAGOYAビジョン  
があるんです!

総務局アジア・  
アジアパラ  
競技大会推進課  
きくち  
菊地さん



### NAGOYAビジョンってなに？

大会を一過性のスポーツイベントで終わらせることなく、これをきっかけに**名古屋市がめざまちの姿**を明らかにするもの

コンセプト

- ★夢や希望をはぐくみ、誰もが自分らしく生きる
- ★アジアとともに歩み、<sup>さら</sup>更なる飛躍を遂げる



### めざまちの姿ってどんなもの？

#### 1 健康・地域活力

スポーツにより、市民が健康に暮らし、地域活動が盛んになることで、活力ある都市に

- ★誰でも気軽にスポーツを楽しめる
- ★食生活・運動についての意識が高まる など



スポーツに親しむイベントを開催

#### 2 魅力・誇り

スポーツが新たな都市ブランドのひとつとなり、名古屋の魅力が国内外に発信され、市民が誇りを持てる都市に

- ★観光プロモーションにより、多くの人を訪れ、にぎわう
- ★大規模競技大会が開催される など



名古屋駅周辺ビル群と名古屋城

#### 3 国際交流・多様性

豊かな国際感覚を備え、多様性に理解を示す市民が増えるとともに、国際社会で活躍する人材が育ち・集う、開かれた都市に

- ★外国諸都市との交流が深まる
- ★年齢・性別・障害の有無・国籍などの多様性を認め合う共生社会に など



姉妹友好都市との交流

#### 4 イノベーション・持続可能性

大会で活用した都市基盤・先端技術・危機管理体制などが、未来に引き継がれることでイノベーションし続ける、持続可能な都市に

- ★新たな路面公共交通システムSRTなどのイノベーションが創出される
- ★スポーツ施設が整備される など



瑞穂公園陸上競技場  
©2021(株)瑞穂LOOP-PFI  
※画像はイメージです

全ての人にとって住みやすいまちになるように取り組んでいます

NAGOYAビジョン  
について詳しくはこちら



問合 総務局アジア・アジアパラ競技大会推進課 ☎052-972-2231 FAX052-972-4205